

千葉県立博物館の事業に係る有識者意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H28)	下段:目標値(H28)	値の説明				数値
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	28年度実績	2571件	4	A	
					資料総点数	2554件			
			2	資料の情報化・公開実績	28年度実績	2554点	3		
					館設定28年度の目標	2571点			
			3	保守・管理の実施状況	28年度実績	約50回	4		
					前年度実績	約50回			
		4	館外貸出(外部機関等展示等)	28年度実績	1件	3			
				要望のあった件数	1件				
				28年度実績	1件		B		
		5	館内利用(学術調査等)	要望のあった件数	1件				
				28年度実績	23件	3			
		6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	要望のあった件数	23件				
				調査研究	7	調査事業件数	件数	28年度実績	
		館の計画	18件						
		8	共同調査事業件数	件数		28年度実績	/	A	
要望のあった件数	/								
9	研究成果の公開状況	論文研究報告	28年度実績	4件	4				
			館の計画	4件					
大項目 I の総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	類似する館が少なく、外部との資料協力は件数が非常に少ない状況にある。しかしながら、展示会の企画・内容について新聞などで取り上げられている件数は増えている。常設展示では、定期的な保守点検を行い、稼働率を高めている。また、大型装置の修繕維持計画を作成し、予算化に努める。								
有識者コメント	収蔵品のカメラの展示などに入場している人も多いようなので、企業から寄付されたものなども積極的に公開してほしい。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]		値の説明	数値						
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	28年度実績	169,778人	4	A	展示会入場者		
						前年度実績	152,887人					
			2	特別展(事業名) (もっと・ずっと・ちばの鉄道)	入館者数	28年度実績	16,852人	4				
						館設定28年度の目標	10,000人					
		3	企画展(事業名) (プラネタリウム)	入館者数	28年度実績	14,963人	3					
					前年度実績	15,766人						
		4	ドーム展(事業名) 伝統的工芸品佐原張子	入館者数	28年度実績	4,973人	4					
					館設定〇〇年度の目標	3,000人						
		展示の充実	5	常設展示	更新回数	28年度実績	/	/			A	コーナーごとの細部の更新あり
						前年度実績	/					
6	特別展(事業名) (もっと・ずっと・ちばの鉄道)		実施回数	28年度実績	1回	4						
		前年度実績		1回								
7	トピックス展等	実施回数	28年度実績	29回	4							
			館設定〇〇年度の目標	29回								
総合的な満足度	8	博物館	アンケート満足度 「とっても良かった」 +「良かった」の割合	〇〇年度実績	/	/	A	館全体では未実施				
				28年度実績	90%				4			
				28年度実績	98%					4		
大項目IIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	常設展の大幅な更新はないが、館蔵資料や展示・運営協力会の協力によるトピックス展示を開催し、来館者の興味をひく展示を実施した。また、昨年に引き続き「房総のむら」による出張展示に協力することができた。											
有識者コメント												
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	28年度実績	100%	4	A			
						前年度実績	72%					
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	28年度実績	/	/				
						前年度実績	/					
大項目IIIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	各年度のプラネタリウム・企画展などの展示会により、ここ数年の入場者数は増減している傾向にある。											
有識者コメント	外部資金の獲得は難しい部分があると思われるが、今後も積極的に獲得に努め、展示の充実をはかってほしい。											

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]		値の説明	数値						
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	28年度実績	2019回	4	A	画像ほかアップ回数		
						前年度実績	1203回					
			2	HPでの利用状況	アクセス数	28年度実績	132,973件			4		
						前年度実績	118,905件					
			3	報道機関への情報発信	取材件数	28年度実績	42件			4		
						館設定28年度の目標	40件					
		大項目IVの総合評価(A~D)								A		
		博物館コメント	平成27年度後半からHPでの更新を大幅に強化した。平成28年度にはその成果が数値として表れていると考えられる。今後もその体制を維持したい。当館に一度も来館したことのない未就学児と親、また65歳以上の県民に対する広報等も検討していきたい。									
		有識者コメント	広報やホームページの充実について、今後も重視して、より入館者数の増加に結びつけてほしい。									
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	28年度実績	145校	4	A			
						前年度実績	141校					
			2	入館者数	28年度実績	17403人	4					
					前年度実績	10069人						
			3	生徒・児童	入館者数	28年度実績	38606人	4				
		前年度実績				32152人						
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	28年度実績	23校	4					
					前年度実績	23校						
		5	利用者数	28年度実績	1046人	2						
				前年度実績	1,531人							
地域関係団体との連携	6	団体数	28年度実績	20団体	4							
			前年度実績	20団体								
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	28年度実績	51回	4						
				前年度実績	51回							
	8	利用者数	28年度実績	20744人	4							
前年度実績			17411人									
9	友の会活動	利用人数	28年度実績	121人	4	H28から活動再開						
10	ボランティア活動	活動延人数	28年度実績	378人	4							
			前年度実績	366人								
大項目Vの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	各地域、各団体との連携を維持していく。また平成28年度から再開した友の会活動については協力関係を強化し支援していきたい。											
有識者コメント	学校との連携は、担当や担任によって学校での取り扱い方が変化する。理科教員の研修なども積極的に受け入れ、地元だけでなく県内に広く活動できるようにしてほしい。											

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]	値の説明	数値				
VI	教育・普及活動	来館状況	1	クリスマス 実験講座	参加者数	28年度実績	60人	3	A
						前年度実績	66人		
			2	展示運営 協会講演会	参加者数	28年度実績	138人	4	
						前年度実績	124人		
			3	夢チャレンジ 体験スクール	参加者数	28年度実績	115人	4	
						前年度実績	100人		
			4	ふうせんス ライムをつ くろう	参加者数	28年度実績	354人	4	
						前年度実績	270人		
		5	体験 教室	化石のレ プリカをつ くろう	28年度実績	692人	4		
					前年度実績	554人			
		6	オリジナル スノードー ムをつくろ う	参加者数	28年度実績	158人	4		
					募集員数	72人			
		7	たんけん科学館	参加者数	28年度実績	1002人	4		
					前年度実績	633人			
		8	展示解説ツアー	参加者数	28年度実績	861人	4		
					前年度実績	599人			
		総合的な 満足度	講座	クリスマス 実験講座	満足度「とても良 かった」+「良かった」の割合	28年度実績	89%	4	A
28年度実績	88%					4			
28年度実績	100%					4			
体験 教室	ふうせんス ライムをつ くろう		化石のレ プリカをつ くろう	満足度「とても良 かった」+「良かった」の割合	28年度実績	89%	4	A	
					28年度実績				
					28年度実績	94%	4		
					28年度実績				
たんけん科学館	満足度「とても良 かった」+「良かった」の割合	28年度実績				アンケートなし			
		28年度実績				アンケートなし			
利用状況	相談件数 (来館、メール、電話 等)	利用件数	28年度実績	562件	3	B	団体受付		
前年度実績	587件								
大項目VIの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	近隣の小学校を中心に配付計画を強化した結果、各講座、体験教室については、毎回多くの参加者が訪れるようになった。定員の増加など対応し、より多くの子どもたちが参加できるようにしたい。また、何度来ても飽きないようなイベントの組み方を工夫する必要がある。								
有識者コメント									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]	値の説明	数値				
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	28年度実績	9人	4	A	
					前年度実績	9人			
			2	教員等の研修	28年度実績	125人	4		
					前年度実績	118人			
			3	職場体験	28年度実績	40人	3		
					前年度実績	50人			
			4	インターンシップ	28年度実績	3人	4		
					前年度実績	3人			
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	〇〇年度実績			
						館の計画			
			6	防災訓練実施等	実施回数	28年度実績	2回		4
						前年度実績	2回		
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						A			
博物館コメント	専門職員としての研修や県職員としての研修などに積極的に参加し、専門性を高める努力を継続させる。館で開催する研修においては博物館実習や教職員の研修、職場体験など、活動の幅を広げた連携に取り組んでいる。								
有識者コメント									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]	値の説明	数値					
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	28年度実績	69団体	3	A	団体受付簿による	
					前年度実績	80団体				
			2		28年度実績	3104人	3			
					前年度実績	3799人				
			3	外国人来館入込	28年度実績	3団体	4			団体受付簿による
					前年度実績	2団体				
			4		28年度実績	85人	4			
					前年度実績	30人				
大項目Ⅷの総合評価(A~D)						A				
博物館コメント	都区内近接区の団体の来館が多い。旅行会社等の仲介により他県からの団体も多いため、旅行会社へのPR・案内を継続したい。									
有識者コメント	県外の団体についても大切にし、団体の傾向や情報を得る必要がある。									
総合評価(A~D) [各達成度の平均]						A				
総合評価と次年度への対策	前年度に比較して入館者の増加がみられ、評価も比較的良好であった。次年度も広報戦略等強化し、より広い年齢層にアピールし、入館者の増加をはかりたい。									

【博物館評価に係る有識者意見】

評価項目全体に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ⅣからⅥなどは目標数値を決定しにくく、評価しにくい。前年度より少し数値が下がっただけで評価が下がるものがある。 ・目標値は絶対数の方がよいものもある。HPの更新数などは1日1回とすれば365であるなど。 ・評価の前段階として、目標値をどう決定するかが大切な点である。 ・一つ一つの目標に納得感が必要である。目標値の切り替えの時期に来ていると考えられる。 ・目標や評価にこだわり、現状をよく把握することが大切である。県民にとって存在価値のある博物館になってほしい。
-------------	--

【博物館記入】

意見への対応	企画展の開催、夏季プラネタリウムの実施を核とし、様々な展示やイベントを実施する方向性を維持する。集客のためにわかりやすい広報・ホームページ運営の充実をはかり県民に親しまれる博物館像をめざしたい。
--------	---